



# 住北通信

第5号 発行日 R元.5.17  
発行者 校長 松下 佳司  
大東市立住道北小学校  
TEL 872-7788 FAX 872-7789

## 講話をふり返って

4月22日(月)の児童集会では、一年生で習う漢字で、一面で簡単に書き表すことができる漢字「一」には、いくつかの意味があるというお話をしました。

まず、「量」を表す「一」です。鉛筆が一本、チョコレートが一個など、数を数えるときのはじめの数です。次に、「順序」を表す「一」です。リレーで一番になったとか、日本で一番高い山は、富士山などと使います。そして、「まとまり」を表す「一」です。一班とか一組とか、グループや集団を表す場合や、「みんなの気持ちを一つにして」と表現する場合にも使います。

そこで、子どもたちに「この「一」の次に、もう一つ漢字と組み合わせで一学期にぴったりの熟語をつくりたいと思いますが、皆さんの頭にはどのような漢字が浮かびましたか」と尋ねました。何人かの児童が手を挙げました。

一人の児童に訪ねると、「一年」と答えてくれました。「新しい学年での一年が始まった。頑張ろう」という決意で答えてくれたのだらうと思います。正解は一つではないとした上で、私が選んだ漢字、「歩」を示しました。「一」と組み合わせ、「一歩」と子どもたちから反応が返ってきました。

「最初の一歩を踏み出す」とか、「一日一歩前に進む」というように、地道にこつこつと頑張ることが大切であることを伝えたく「歩」を選びました。一人が一歩進めば、学校全体で、**345歩**の大きな前進となります。それぞれの一歩を大事に見取りながら、「令和」という新しい時代を、子どもたちとともに毎日、明るく、楽しく歩んでいきたいと思っています。



児童会認証式

## 前期児童会

4月15日(月)より、**前期委員会活動**がスタートしており、児童会の役員・代表委員の顔ぶれも、フレッシュに勢ぞろいしました。

前期児童会の目標は、「**メリハリ あたり前 笑顔で元気なあいさつ**」です。会長の徳永勇一さんは、毎日、はつらつとした声で気持ちのよい挨拶や返事を心がけている児童です。正しく率先垂範の姿勢で住北小をよい学校にしようと、強い気持ちをもっています。

徳永さんをはじめ、児童会役員・代表委員の児童一人ひとりの活躍を見守りつつ、正当なリーダーが育つ学校として、児童会の運営にも力を入れていきます。まずは、運動会での働きぶりに注目してあげてください。

会長	6年1組	徳永 勇一	代表委員	5年1組	行者 彩結
副会長	5年1組	遠藤 ちはる		5年1組	吉元 メアリー アメリカ
書記	6年2組	河野 真理奈		5年2組	芦口 結都
	5年2組	大森 凜		5年2組	濱田 佑磨
	4年2組	橋本 沙樹		4年1組	高野 菜都美
代表委員	6年1組	井花 知煌		4年1組	檜尾 陽菜
	6年1組	諏訪原 里紗		4年1組	松下 釉乃
	6年2組	三宅 倅生		4年2組	相岡 絢海
	6年2組	吉田 珠羽		4年2組	早田 圭佑

児童会とともに、**保健・体育・図書・掲示・給食・放送・飼育・整備園芸**の8委員会に、5・6年生の児童が所属し、学校生活に役立つ活動を運営しています。

# PTA総会

5月10日(木)にPTA総会を開催し、お忙しい中、ご出席下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

そして、委嘱状をお渡ししました新年度の役員・実行委員、各委員の皆様には、1年間、大変ご苦勞をおかけいたしますが、子どもたちのため、学校のためにお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

今回のPTA総会にて、本年度の**事業計画案**並びに**会計予算案**、そして、**PTA規約**の一部改正等についてご承認いただき、本年度のPTA活動を本格的にスタートさせることができました。そのことのお礼を述べますとともに、最後のあいさつでは、少しお時間をいただき、私たち教職員が大切にしたい子どもの見方について、お話をしました。

子どもの見方、つまり、子ども理解の根底にあるのは、子どもたち一人一人に良さがあり、一人一人が伸び代を持っているということです。

このことを踏まえ、「**三つの目**」としての「**見つめる目**」、「**見つける目**」、「**見まもる目**」を通して、子どもたちを温かく指導・支援してまいりたいと考えております。

まずは、「見つめる目」。「見つめる目」を通して、子どものありのままを肯定的に受け入れること。

次に、「見つける目」。「見つける目」を通して、子どもの良さやがんばりを発見すること、引き出すこと。最後に、「見まもる目」。「見まもる目」を通して、子どもの向上的な変容に気づき、賞賛を繰り返しながら自信を持たせ、自立(自律)へと向かわせること、この三つの見方を大切にしたいと考えております。

昭和の教師なら誰もが知る、教育者 東井 義雄 先生が作られた詩「心のスイッチ」の冒頭に、「**人間の目は ふしぎな目 見ようという心がなかったら 見ても見えない**」というフレーズがあります。教師として、見ようという心がなかったら、子どもの良さやがんばりはもちろんのこと、子どもなりの心遣いや気働きにも気づけませんので、この「三つの目」を常に意識しながら子ども理解に努め、教育活動の充実を図ってまいります。



## 読書ノート

本校では、大阪読書推進会オリジナルの「読書ノート」に応募し、取組みを始めて3年経過しましたが、読んだ本を記録することを楽しみに、**読書意欲**を高める子どもが年々増えてきました。

読書ノートは、担任の先生が本を読み終えたことを確認してノートにスタンプを押し、**1~4年生は、100冊**達成で「朝日新聞デジタル」に氏名が掲載され、**5~6年生は、50冊**達成で「朝日新聞」と「朝日新聞デジタル」に氏名が掲載されるという仕組みになっています。

4月25日(木)に、朝日新聞および朝日新聞デジタルにて氏名が掲載されたところですが、改めて、**2018年度後期達成者**を紹介いたします。

### 読書ノート 2018年度後期達成者 ※学年は、昨年度の所属学年です。

1年生 大岡隆太郎 奥村勝也 小田力エウ 小石原千咲 車谷一颯 千田萌々音 平井優  
藤崎美瑚 三宅望生 柳瀬羽花  
2年生 北村進次郎 安田優花 米沢奏太郎 川村向日葵 小橋正義 高橋海俐  
4年生 遠藤ちはる 大森凜  
5年生 井花知煌 岩見穂奈美 岡本柚夏 小橋愛実 徳永勇一 西野愛琉 野口紗那  
濱崎凜音 濱田奏太 松下莉玖 丸尾康太 青木千尋 荒武春乃 市川希羽  
植益大地 北田優心 木村壮汰 諏訪原里紗 西田優月 温水こころ 日高佑菜  
平井陽大 松下愛久 松田洋太 実岡桜愛 三田村寧々 村上優奈 森原将太